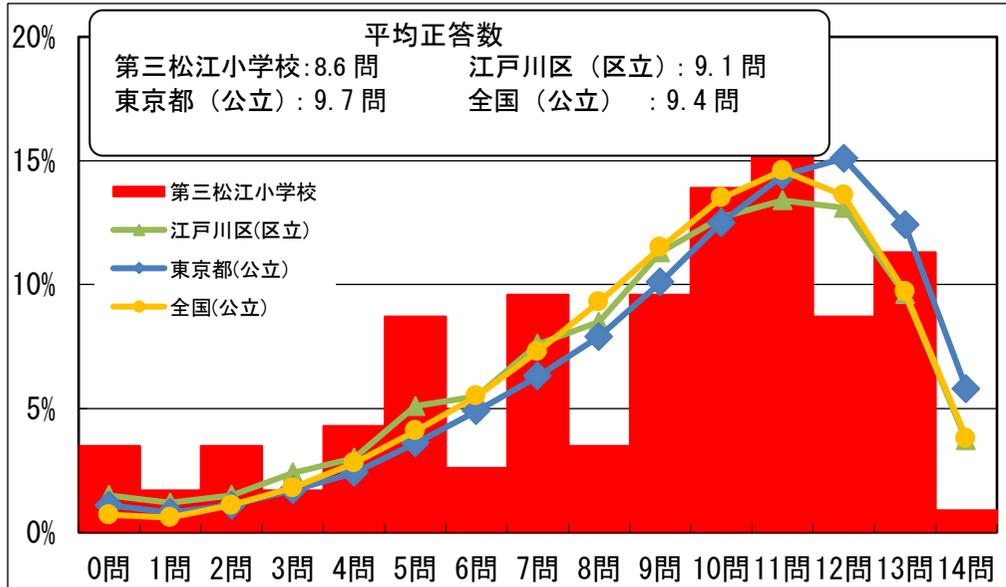


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 第三松江小学校

正答数分布



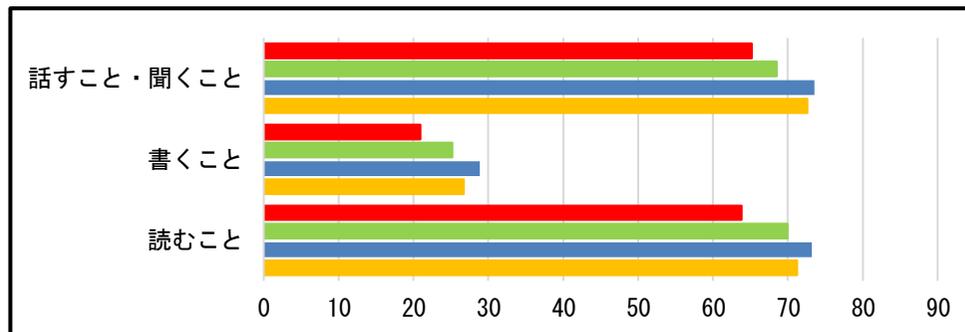
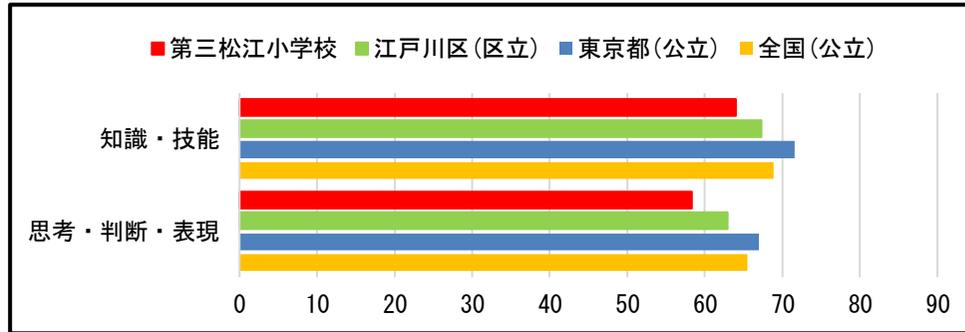
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
第三松江小学校	20.9	30.4	13.1	35.6
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

第三松江小学校	61%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	8ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

・A層が少なく、D層が多いことが見て取れる。しかし、あと1問正解で上位層にカウントされる児童が多くいることも事実である。学力の向上を図る授業改善を進めるとともに、自分の力で未知の課題に取り組む力を養う指導が必要である。

・知識・技能、思考・判断・表現ともに6割程度の成果が上がっている。領域別では、「読むこと」の成果をまず上げていけるように校内で研究を進める。